

平成18年度 予算総額

274億4,458万円

一般会計は142億1,000万円

会計名	18年度予算額	17年度予算額	伸び率(%)
一 般 会 計	142億1,000万円	145億6,700万円	2.5
特 別 会 計	113億5,110万円	114億6,950万円	1.0
あけよ温泉白寿荘特別会計	-	1億180万円	皆減
老人保健事業特別会計	38億5,800万円	38億6,960万円	0.3
国民健康保険事業特別会計	30億7,720万円	32億3,450万円	4.9
介護保険事業特別会計	21億2,080万円	19億8,550万円	6.8
農業集落排水事業特別会計	1億4,150万円	1億3,560万円	4.4
駐車場事業特別会計	2,580万円	2,160万円	19.4
瑞浪中央土地区画整理事業特別会計	2億8,500万円	3億4,900万円	18.3
下水道事業特別会計	15億7,800万円	15億2,990万円	3.1
簡易水道事業特別会計	2億1,850万円	2億4,200万円	9.7
介護サービス事業特別会計	4,630万円	-	皆増
水道事業会計	18億8,348万円	19億3,280万円	2.6
予 算 総 額	274億4,458万円	279億6,930万円	1.9

魅力あるまちづくりを

平成18年度の当初予算が2月22日から

開かれた第1回市議会定例会で

可決しました。

平成18年度の本市の予算総額は、対前年度比1.9%減額となりました。一般会計では、平成17年度に弓道場・日吉中学校建設、市道上平山田団地線道路改良工事などの大きな事業が完了したことなどにより対前年度比2.5%の減額となりました。また、特別会計等では、制度改革による介護予防の充実や介護予防マネジメント事業を行うための介護サービス事業特別会計の新設などの増加要因がある一方で、指定管理者制度への移行に伴うあけよ温泉白寿荘特別会計の廃止などにより、全体で1.3%の減額となりました。

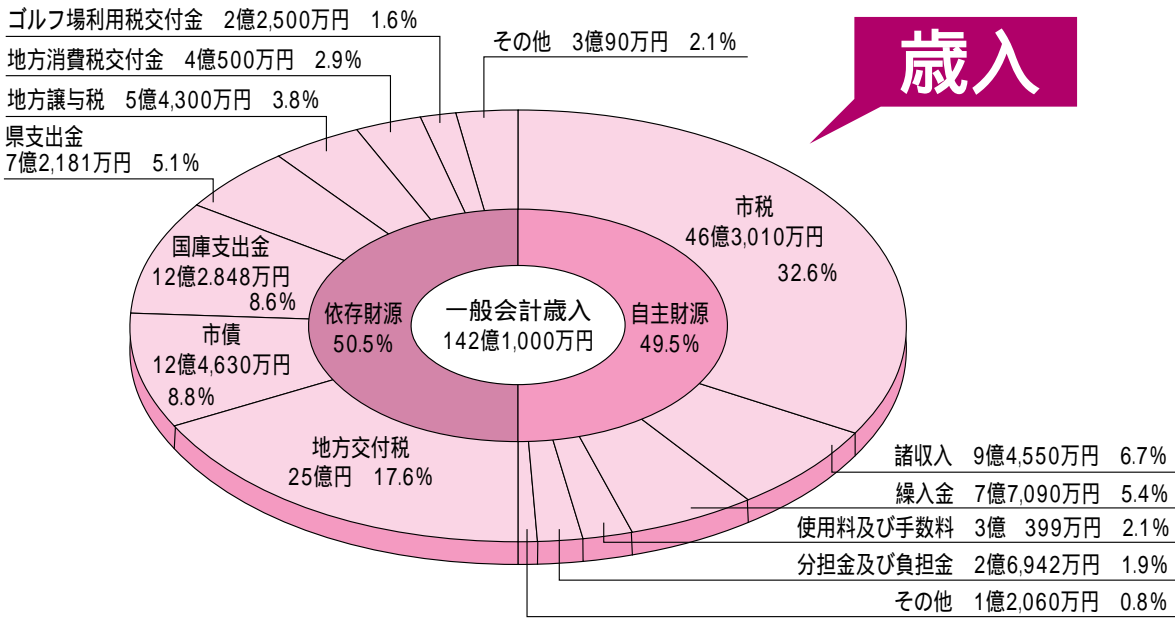
このようななか、平成18年度は前年度に引き続き人件費など経常的経費の削減に努め、一般会計では約30億円(21%)の建設的な事業費を確保しました。

歳入については、税制改正により市民税は増加するものの固定資産税は評価替え・地価の下落などにより前年度に比べ減額が見込まれます。また、三位一体改革により国の補助金の削減と所得譲与税による地方への税源移譲が拡大されましたが、財政面での自由度は高まらず、前年度に引き続き厳しい財政状況におかれています。事業に伴う財源の不足は、基金の取崩しや市債の発行で対応しますが、将来の市民の負担増とならないよう計画的な運用に努めます。

歳出については、総合消防防災センターの建設、上水道未給水地域解消事業の継続など安全・安心・快適なまちづくりを目指した事業に対して重点的に予算を配分しました。地方財政の将来像が依然として不透明な中、今後とも安定した地方自治を進めるため、なおいつそう市政の合理化と経費の削減に努めます。

一般会計の状況

歳入



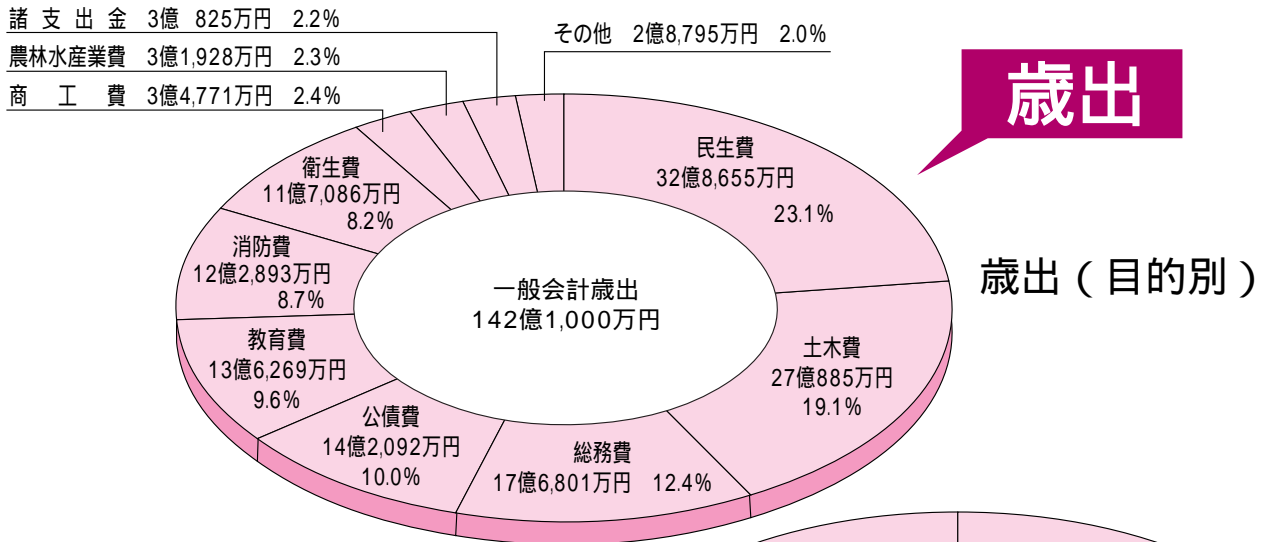
その他の内訳 (依存財源)

地方特例交付金	1億2,690万円
自動車取得税交付金	1億2,600万円
利子割交付金	2,000万円
配当割交付金	1,000万円
株式等譲渡所得割交付金	1,000万円
交通安全対策特別交付金	800万円
合計	3億90万円

その他の内訳 (自主財源)

繰越金	1億円
財産収入	1,460万円
寄附金	600万円
合計	1億2,060万円

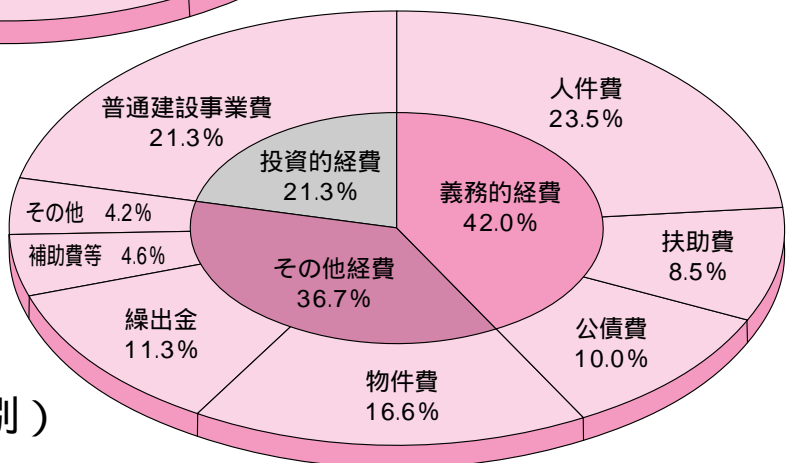
歳出



歳出 (目的別)

目的別「その他」の内訳

議会費	1億9,300万円
労働費	7,495万円
予備費	2,000万円
合計	2億8,795万円



歳出 (性質別)